

## キリストの再臨〔要約〕

黙示録 19 : 11 ~ 21

- 11 また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実」と呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。
- 12 その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。
- 13 その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「神のことば」と呼ばれた。
- 14 天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。
- 15 この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。
- 16 この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。
- 17 その着物にも、ももにも、「王の王、主の主」という名が書かれていた。
- 18 また私は、太陽の中にひとりの御使いが立っているのを見た。彼は大声で叫び、中天を飛ぶすべての鳥に言った。「さあ、神の大宴会に集まり、王の肉、千人隊長の肉、勇者の肉、馬とそれに乗る者の肉、すべての自由人と奴隷、小さい者と大きい者の肉を食べよ。」
- 19 また私は、獣と地上の王たちとその軍勢が集まり、馬に乗った方とその軍勢と戦いを交えるのを見た。
- 20 すると、獣は捕らえられた。また、獣の前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拝む人々とを感わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕らえられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きてままで投げ込まれた。
- 21 残りの者たちも、馬に乗った方の口から出る剣によって殺され、すべての鳥が、彼らの肉を飽きるほどに食べた。

### キリストに対する預言

① 受難の僕としても預言 ② 王の王、主の主としての預言  
ユダヤ人は、今でも王の王、主の主として来られる預言を信じています。

#### (A) 白い馬に乗ってこられる

黙示録 19:11 また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実。」と  
呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。  
「天が開かれ（口語訳）白い馬に乗った方」「忠実」≡「ご自分の約束を忠実に守られる。」  
人間は、約束したことを何パーセント守れば忠実な人と言えますか。60パーセント守ればものすごく忠実な人です。結婚式の時の誓約書を、何パーセント守っておられますか。

マタイ 7:1 さばいてはいけません。さばかれないためです。  
この御言葉を守っている人は少ないと思います。イエス様は約束されたことは100%守ってくださいます。

ヨハネ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。  
イエス様は、イエス様を信じる者すべてに永遠の命をくださいます。こんな人に永遠の命をあげたくないと思う人もいます。しかし、イエス様を信じる者には必ず永遠の命をくださいます。イエス様はイエス様を信じないものを、必ず裁かれます。

黙示録 19:12 その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。  
「目は燃える炎」=「すべての罪を見ぬかれる。」・・・私などは罪ばかり犯しているので、絶対の天国へ入れてもらえないものです。しかし、御子を信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命をいただくのです。こんな感謝なことはありません。

黙示録 19:13 その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「神のことば」と呼ばれた。  
ヨハネ 1:1 初めに、ことばがあつた。ことばは神とともにあつた。ことばは神であつた。  
神様はご自分の言葉によって天と地を創造された。神様はご自分の言葉によって罪人を裁かれます。

#### (B) キリストの再臨

黙示録 19:14 天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。  
「天にある軍勢」=①天使たちの軍勢 ②キリストの花嫁 ③携拳されたクリスチャン④大患難時代に救われた人たち。

ゼカリヤ書 14:4 その日、主の足は、エルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。オリーブ山は、その真中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。山の半分は北へ移り、他の半分は南へ移る。現在オリーブ山は真ん中で二つに裂けています。（エルサレムの東にある山）

使徒 1:9 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。  
イエス様はオリーブ山から召天された

イエス様の乗り物

ダニエル書 7:13 私がまた、夜の幻を見てみると、見よ、人の子のような方が天の雲に乗って来られ、年を経た方のもとに進み、その前に導かれた。

マタイ 24:30 そのとき、人の子のしるしが天に現われます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。

黙示録 19:15 この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。

口から…鋭い剣＝御言葉によって裁かれ、み言葉によって天地を創造され、御言葉によって裁かれる。私たちはどれほど神の言葉に従っているのでしょうか。

黙示録 19:16 その着物にも、ももにも、「王の王、主の主。」という名が書かれていた。



(0) ハルマゲドンの戦い

(1) ハルマゲドンの戦いはメギド平野

図にあるように、メギドはガリラヤ湖から30キロほど離れたところにあります。長さは35キロ、幅は25キロ、種々の民族が集まるために特別に作られた円形闘技場のようです。そこでいくつかの道路が交差します。エジプトからバビロンあるいはニネベへ、エルサレムからダマスコ、アンテオケへ行くこれらの道路は、オリエンツの帝国を一つに結び付けています。したがって、メギド平野は、この国の戦略的なカギだったのです。

(2) なぜ最後の戦いは、パレスチナで行われるのか。

パレスチナは各大陸の回り舞台です。アフリカ、アジア、ヨーロッパ各大陸がおのの地中海沿岸で出会う戦略的地点です。この地点で、世界で最も重要な道路が交差します。ヨーロッパとインド、およびアジアとアフリカを結ぶ道路が交わり、他方東洋との交通のすべての動脈ともいえるスエズ運河の海路があります。そのうえ中近東は、石油資源の故に、極度に重要な地位を占めます。中近東（イラク、イラン、アラビヤそれにパレスチナ）では新しい油田が発見され、非常に重要になってきています。

(3) ユダヤ人は、1948年にイスラエル共和国を建国しました。

(4) ハルマゲドンの戦いには地上すべての国が出陣します。

第2次世界大戦の時のように、ハルマゲドンの戦いでは全世界の軍隊がメギドの平野に集められます。

黙示録 19:19 また私は、獣と地上の王たちとその軍勢が集まり、馬に乗った方とその軍勢と戦いを交えるのを見た。

黙示録 19:20 すると、獣は捕えられた。また、獣の前でしるしを行ない、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拝む人々とを惑わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕えられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きてままで投げ込まれた。

「獣」＝「反キリスト」「王たちの軍勢」＝「全世界の王たちの軍勢」「馬に乗った方」＝「キリスト」キリストは、たった一人で全世界の軍勢と戦うのです。キリストは、猫の子を捕まえるように反キリストを捕まえ、偽預言者と一緒に硫黄の燃える池に生きてままで投げ込まれた。偽預言者が反キリストの像を作り捧むように命令した。捧まない者はみな殺された。これはローマのクリスチャンがカエサルを神とするか、イエス・キリストを神とするかをクリスチャンに迫り、イエス・キリストを神とするものはみな殺されました。反キリストの像を捧むということは命がけのことなのです。

そのように権威のある反キリストをキリストは猫の子を捕まえるように捕まえて硫黄の燃える池に、生きてままで投げ込まれた。私たちクリスチャンは何よりもキリストの権威を恐れているのでしょうか。

マタイ 28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

今も北朝鮮に行って、監獄にとらえられている宣教師がいます、その宣教師は、キム・ジョンウンの権威よりもイエス・キリストの権威を信じているのです。

【結論】

(1) 再臨がもたらす裁き

反キリストと偽預言者は硫黄の燃える池に投げ込まれた。

黙示録 20:12 また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているとこに從って、自分の行ないに応じてさばかれた。

黙示録 20:13 海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのの自分の行ないに応じてさばかれた。

黙示録 20:14 それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。

黙示録 20:15 いのちの書に名が書かれていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

イエス・キリストを信じる者はいのちの書に名が書き記される。イエス・キリストを信じないものはいのちの書に名が書き記されていない。

ルカ 10:20 だがしかし、悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい。」

イエス・キリストを信じるのが人生で最も重要なことです。

(2) 再臨がもたらす祝福

イエス・キリストが全世界を統治する。クリスチャンは復活の体をもって1000年の間、世界を統治する。どうして日本人はイエス・キリストを信じようとししないのか、それは悪霊の働きによる。

Ⅱコリント 4:3 それでもなお私たちの福音におおいが掛かっているとしたら、それは、滅びる人々のばあいに、おおいが掛かっているのです。

Ⅱコリント 4:4 そのばあい、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。

Iコリント 10:19 私は何を言おうとしているのでしょうか。偶像の神にささげた肉に、何か意味があるとか、偶像の神に真実な意味があるとか、言おうとしているのでしょうか。  
Iコリント 10:20 いや、彼らのささげる物は、神にではなくて悪霊にささげられている、と言っているのです。私は、あなたがたに悪霊と交わる者になってもらいたくありません。

悪霊の親分はサタンです

黙示録 20:1 また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手を持って、天から下って来るのを見た。

黙示録 20:2 彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕え、これを千年の間縛って、

黙示録 20:3 底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解き放されなければならない。イエス・キリストは御使いに命じてサタンを底知れぬところに閉じ込めることのできるお方です。

マタイ 28:18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

イエス・キリストの権威を信じましょう。